

公益財団法人

NO. 65 (2021. 10. 25)

三河郷友会会報

三河郷友会OB会

OB・OG総会の中止と新型コロナ後に向けて

理事長 中村 民雄

10月1日、長かった「緊急事態宣言」が解除され、さっそく三河寮にも夜遅くまで大騒ぎする日常が戻ってきました。もっとも、宣言下であってもうるさいのは変わらず、近所からの苦情に館長は平身低頭しています。寮生大会で注意しても効き目があるのは数日のこと、麻雀で騒いだかと思えば、卓球しながら氣勢を上げて夜遅くまで騒いでくれます。その点では、昭和の時代にタイムスリップしたような「古き良き伝統」が残っている学生寮ですが、小石川周辺は令和のリモートワーク、昔のように大目には見てくれません。また、今のところクラスターは発生していませんが、2回ワクチン接種をした館生は6割強、10月中に接種する館生と併せると約8割になります。残りは「打たない」もしくは「不明」ですが、その人たちへの接種強要や陰性証明書の提示は求めません。もちろん、来年度の入館生に対しても接種の証明などは求めませんのでご了解ください。なお、学生会館では「三密」を避けることはできませんが、入館時の検温と消毒を徹底することで各人の体調管理を促し、クラスターの発生だけは絶対起こさないようこれからも注意していきます。

次に、11月14日に予定していました令和3年度のOB・OG総会は準備が整いませんので今年も中止し、理事・評議員懇談会に切り替えます。令和4年度こそは実施したいと思いますのでそれまでお待ちくださいますようお願いいたします。

そんな新型コロナに振り回された令和3年度前半期ですが、良いニュースもありましたので二つ報告します。

先日、ヤフオクに「三河郷友会員之章」というバッジが出品されました。価格は1,000円だったので早速入札し、落札しました。

このバッジは、明治33年(1900)12月に本郷区森川町の旧岡崎藩・本多邸に三河郷友会東京寄宿舍が開設したころのもので、この森川町(東大赤門前)時代は10年ほどで、明治41年10月には大塚窪町(現在の文京区小石川5丁目)に移転しました。



このバッジを明治30年代と断定した理由は、当財団が出版した『ある学生寄宿舍の百年—財団法人三河郷友会学生寮—』の67頁に、杉浦善四郎宛の感謝状(三河郷友会設立ノ主旨ヲ翼賛セラレ本會ノ

裨益尠カラス茲ニ会員章ヲ贈リ以テ謝意ヲ表ス) が掲載されています。その文面によれば、感謝状とともにバッヂも贈られたことがわかります。明治 30 年代は寄宿舎を開設したばかりですが、入舎希望者も急増し、広い自前の土地を求めて移転準備をはじめた時でもあります。当時の「三河郷友会規則」によれば、通常会員は「毎年一口五拾銭」を 10 年間納める者をいい、特別会員は「一年以内ニ一口四圓」または数口以上納めた者をいうとあります。このバッヂは後者の特別会員に贈られたものと思われる。

当時の通常会員 (50 銭)、特別会員 (4 円) は、今日ではどのくらいのお金に換算できるだろうかいろいろ比較してみました。現在の館費 (寮費) と比較すると、明治 33 年東京寄宿舎開設当時の舎費が月額 5 円 50 銭、現在の館費が男子 5 万 1 千円、女子 6 万 6 千円ですから、単純にいて 1 万倍くらいになります。したがって、通常会員 (50 銭) は現在の 5 千円ほど、特別会員は 4 万円くらいになります。現在、三河郷友会 O B 会で普通会費 (3,000 円)、特別会費 (5,000 円)、改築改修積立金 (1 口 20,000 円) の寄付をお願いしていますが、120 年前の募金時とほぼ同じような条件であったことがわかります。さらに、もっと身近な食べ物で比較してみても、明治 30 年 (1897) にうな重が 30 銭、明治 35 年に天井 8 銭、カレーライス 5~7 銭でした (『値段史年表-明治・大正・昭和-』朝日新聞社、昭和 63 年)。これを 1 万倍してみると、うな重 3,000 円、天井 800 円、カレーライス 500~700 円となり、お金の価値としてはこんなものかなと思います。いずれにしても、120 年前も今も三河出身者を中心とした小口の寄付金をチマチマ集めながら学生寮を運営してきたことがわかります。この姿勢は今後とも大事にしていきたいと思いますので O B ・ O G 各位のご支援・ご協力をお願いします。

次に、二つ目の報告は、緊急事態宣言下の 9 月、かつて泉育英会 (平成 4 年解散、残余資金を三河郷友会に寄付) から奨学金をいただいたという方から、その恩返しをしたいと連絡がありました。泉育英会というのは、日本弁護士連合会会長や明治大学理事長を歴任された水野東太郎氏が自宅の敷地に建てた学生寮のことです。設立は昭和 37 年 (1962) 12 月、氏の出身が刈谷市であったことから刈谷高校・刈谷北高出身者が中心の学生寮でした。水野氏の死去後、ご遺族の方が受け継いで来られましたが時代とともにそれも無理になり、解散することになったものです。入寮者が刈谷市中心だった関係上、三河郷友会に水野氏の育英精神と残余資金を引き継いでもらいたいという申し出がありましたので、お引き受けしたものです (前掲『百年史』256~271 頁)。

こうした大口の寄付金は、年会費とともにお願いしている「改築改修積立金」のような特定費用準備金とは性格が異なりますので、財団の基本財産 (基本金) に繰り入れました。平成 26 年に女子館を建てた時、泉育英会から頂いた残余資金は基本財産 (基本金) に入れてありましたが取り崩し、建築頭金にしました。今回も、将来男子館を建て替える時の頭金に充当したいと思っています。男子館の建て替えはまだまだ先のことで、13 年計画 (新型コロナで 2 年経過) になりそうですが、将来計画書を作成し『会報』に提示したいと思っていますのでよろしくをお願いします。

<追記>

本年 9 月、隣の愛知県育英会が『愛知学生会館百四十年史』を発売したとのこと、当財団が出版した『百年史』からの引用が多くあるので 1 冊寄贈しますと送られてきました。本の内容について、郷友会が最も知りたいと思っている昭和 30 年代後半の育英会と郷友会のボタンの掛け違いについては、「(県から) 補助金が出なかったのは事実であり、三河側には協力が得られなかったという意識が残った」と簡単に結論づけている。昭和 49 年 (1974) からこの件に関わってきた小生には、そんな簡単なものじゃないよという思いが強いので、この件については次号で詳しく述べます。

令和3年度の活動報告と今後の予定

- ・令和3年4月1日、OB9名、OG9名を新たに卒館生として迎えた。
- ・令和3年5月9日に予定していた役員と新入館生との懇親会は中止とした。
- ・学生が中心となってリニューアルしたホームページの運用を開始した。
- ・特定費用準備金としての「改築改修積立金」は、年度末「ゆうちょ銀行」に積み立てる。
- ・令和3年9月、愛知県育英会『愛知学生会館百四十年史』の寄贈をうけた。
- ・11月14日に予定していた第36回OB・OG総会は中止し、その代わりに理事・評議員懇談会を開催し、半年間の経過報告とこれからの対応策について話し合いをする。
- ・令和4年度新入館生の募集は例年どおり12月と3月に行う。募集要項のホームページへのアップは10月20日に行う。また、状況を見て高等学校廻りを行う。
- ・『公益財団法人三河郷友会会報』第64・65号は予定どおり発行した。
- ・新型コロナ第6波の状況を見ながら、令和4年の理事会・評議員会の開催を判断する。

令和3年度の会費納入者一覧（令和3年4月1日～令和3年10月8日）

（金額を入れず、会費の種類・口数のみ書きますのでご了承ください。）

筒井健太郎（普特） 尾崎恵美奈（普） 松田 健（普） 浅井 卓二（普） 高山 潤一（普）
鈴木 乃菜（普） 紅林 淳（普特） 勝部 敦史（普特） 鷹野 徹也（普） 藤沢 孝好（普）
山本 智永（普改1） 早川 勝博（普） 千葉 一郎（特2） 山崎 宣典（普特改1） 磯村 文太（普）
稲垣 光治（普） 佐藤 公彦（普2特2） 榊原 邦恭（普） 井上 英二（普） 竹内 義人（特）
太田 雅人（普特） 平野 元（特2） 高木 謙介（普） 味岡 秀樹（普特改1） 岩瀬 真生（普）
加藤 盛芳（普） 中瀬 康博（普） 増村 清人（普特改1） 永田 靖章（普） 杉浦 亘（普）
大沼 敏行（普改1） 牧野 成憲（普） 浅井 和彦（普） 安川 彰吉（特） 青木 一正（普）
村田 寿（普） 飯沼 信彦（普） 荻野 寿喜（普） 福間 淳（普） 鈴木 義久（普）
米田 吉孝（普） 洲崎 りこ（普） 太田 玲和（普） 岩崎 仁（普） 南 孝三郎（普）
山田 喬（普） 石河 輝道（普） 武田 正道（特） 川澄 渚（普） 伊藤 学（普）
渡辺 乃康（普） 柴田 裕（特） 梅田 尚志（普） 梅田 有哉（普） 吉見 伝一（普）
鈴木 敏彦（普） 鳥居 延行（普特改1） 石川 邦雄（普） 古澤 龍平（普） 前田 稔（普）
前田 文彦（普） 川崎 直輝（普特） 村松 幹人（普特） 小澤 洋介（普改4） 山中 賢一（普）
村松 誠（普） 都築 豪（普） 加藤 定彦（普） 山崎 憲伸（特） 杉山 葵（普）
山本 浩司（改1） 山本 将史（普） 高柳 政典（普） 鈴木 基秀（普） 鈴木 章悦（普）
都築 重和（普） 永井 寛（特） 吉田実可子（普） 岩佐 正輝（普） 片山 到（普）
山中 賢一（百） 伊藤 未結（普） 藤田 魁人（普） 金子蒼一郎（普） 岡 花音（普）
宮田 隆之（普） 清水 幹良（普特改1） 鈴木 一元（普） 太田 博隆（普） 南崎 仁志（普）
紀岡 義博（普） 伊藤 貴紀（普改1） 中村 裕明（普） 芦沢 次郎（普） 片岡 高文（普改1）
大竹 有二（普） 夏目 俊信（普特改1） 荒牧 功（特） 加藤 康雄（普） 磯村 真人（普）
杉浦 芳博（特7改7） 山住 敦史（普） 中村 民雄（普特改3） 小笠原啓介（普） 縣 誠司（普）
兵藤 雄之（普特） 谷川 憲三（普） 成瀬 重行（普） 前田 裕己（普） 鬼頭 誠（普特）
三浦 芳江（普） 中西 雅俊（普） 服部 具明（普） 後藤 俊広（普特） 田淵 学（特）
池江 理紗（普） 寺嶋 隆（特改1） 宮路 出（特） 榊原 琢也（普） 伊藤 明義（普）
米津 佑哉（普） 宮田 春紀（普） 浅井 誠（普） 近藤 健太（普） 内田 肅（普）

後藤 彰彦(普特改1) 竹内 精司(普) 稲垣 裕章(普特2) 藤井 千里(普) 橋本 謙蔵(普)
 金 奏希(特) 近藤 啓勝(特) 尾崎 雅輝(普) 浅井 和彦(普) 小野寺雅史(普改1)
 小川 源八(普) 熊谷 詔男(普2) 小原 好雄(普) 浅田 信二(普) 山本 竜夫(普)
 福井 康光(普特改2) 夏目 和人(普) 伊藤 貴司(普) 兼子 聡(普) 榊原 潤(普)
 杉山 晃浩(普特) 片岡 大到(普) 深津 繁人(普) 笠田 靖憲(普特20) 松井 敏夫(普改1)
 渡辺 光(普) 林 全宏(普) 川寄 英輝(普特改1) 鈴木 充樹(普) 山本 淳(特)
 河崎 吉廣(普) 堀内 康平(普) 中根 守久(普) 柴田 久雄(普)
(普)：普通会費 (特)：特別会費 (改)：改築積立金 数字：会費の口数縣

令和3年度会費納入のお願い

三河郷友会OB会会則第3条(本会は、三河郷友会学生寮OB会員相互の交流と友情を深めるとともに、財団法人三河郷友会に対する維持運営に財政援助することを目的とする。)にもとづき、令和3年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。

なお、ご入金は郵便振替(00150-8-27434 三河郷友会OB会)でお願いいたします。

| | |
|---|---------|
| 普通会費 | 3,000円 |
| 特別会費(1口) | 5,000円 |
| 男子館改築積立金(1口) | 20,000円 |
| * (公益財団法人三河郷友会で「改築改修積立金」として積立てます) | |
| 創立百年史(残部僅少) | 7,500円 |
| * なお、普通会費・特別会費で繰越金が出た場合、公益財団法人三河郷友会へ寄付し、「特定費用準備金(改築改修積立金)」に計上します。 | |

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜あ と が き＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

新型コロナウイルスの蔓延で、4月以降多くの行事が中止・延期を余儀なくされました。ただ『会報』は、予定どおりNO64・65ともに発行することができました。

学生にとっては2年続けてオンライン授業という大学もありますが、多くは対面とオンラインを併用し、少しずつ大学での生活が戻ってきました。アパートで一人暮らしの学生の中には、オンライン授業で外出もままならず、生身の人間との会話がないたため「うつ」になると聞きますが、当会館ではそうした心配よりも周囲の方々からの苦情処理に頭を悩ませています。

それでも、館長とともにコロナ後を見据えて令和の学生会館のあり方を模索し、一步一步前に進んで行きたいと考えています。

(理事長 中村民雄)

OB会事務局 〒112-0002
 東京都文京区小石川 5-19-37
 公益財団法人 三河郷友会内
info@mikawagoyukai.net
<http://www.mikawagoyukai.net>
 TEL 03-3946-0342 (館長：酒井)